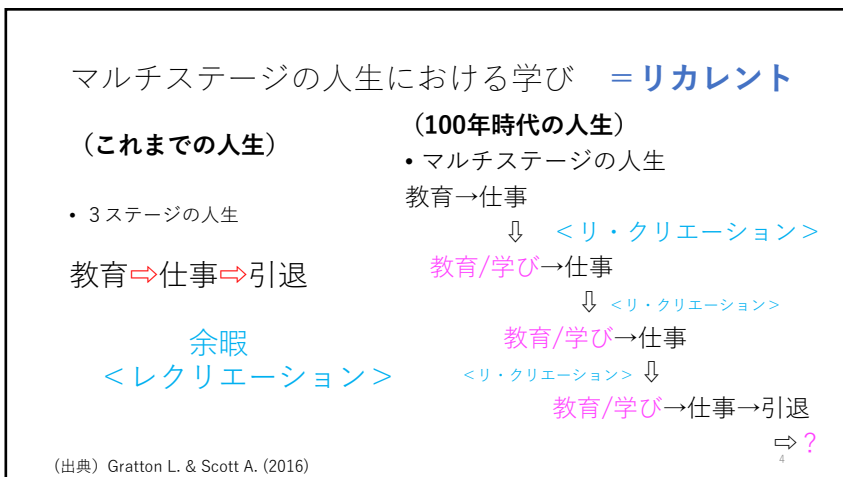
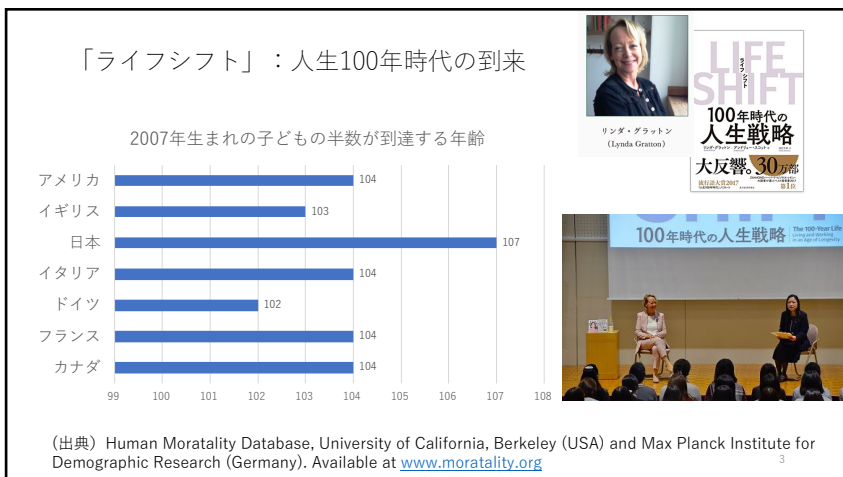




CONTENTS

1. 人生100年時代を見据えた新しい時代の生涯学習・社会教育:
EUのアクティブ・エイジング指数からみる生涯学習の重要性
2. 21世紀の生涯学習・社会教育:
社会の変化に即応するスウェーデンの「民衆教育」
3. 諸外国から注目されている日本の生涯学習実践



100年ライフに必要な人生の「無形資産」

- ◆生産性資産 = 仕事で生産性を高めて成功するための資産
 専門的スキル、知識、人脈、人間関係、評判
- ◆活力資産 = 肉体的・精神的な健康と幸福
 健康、友人関係、パートナー、家族との良い関係
- ◆変身資産 = 多くの変身を遂げるために必要な資産
 自分についてよく知っている、
 多様な人的ネットワーク
 新しい経験に対してオープンな姿勢

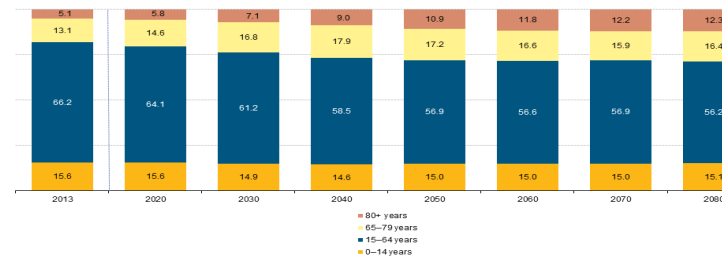
教養（リベラル・アーツ）、探究的・体験的学び、旅

(出典) Gratton L. & Scott A. (2016)

5

EUでも進む高齢化

2013年の現状と2080年までの高齢化率の予測



0-80+ projections (EUROPOP2013);
 Eurostat (online data codes: demo_pjangroup and proj_13npms)

(資料) EUROSTAT

http://epp.eurostat.ec.europa.eu/statistics_explained/index.php/Population_structure_and_ageing

欧州アクティブ・エイジングと世代間団結の年 (2012年)

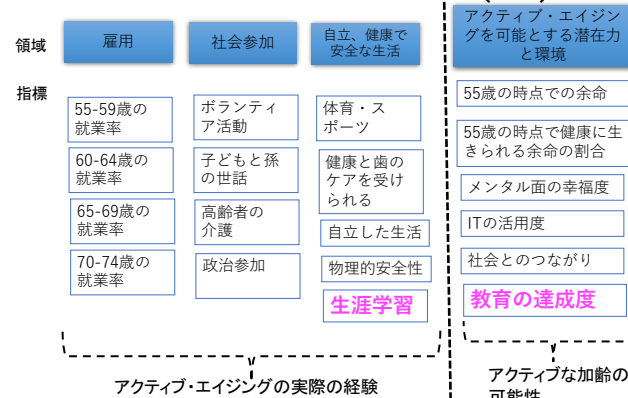
以下の3領域におけるアクティブ・エイジングの推進について検討。全欧からグッド・プラクティスを発掘して表彰なども行う。

- 雇用
- 社会への参加
- 自立した生活

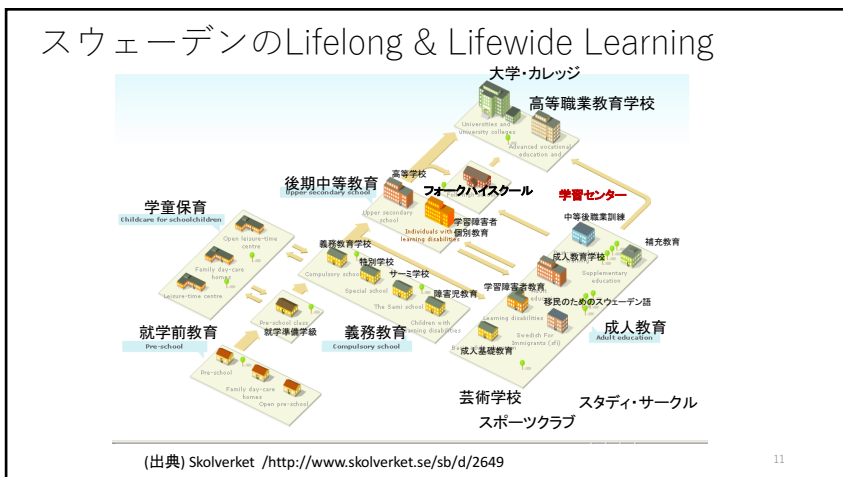
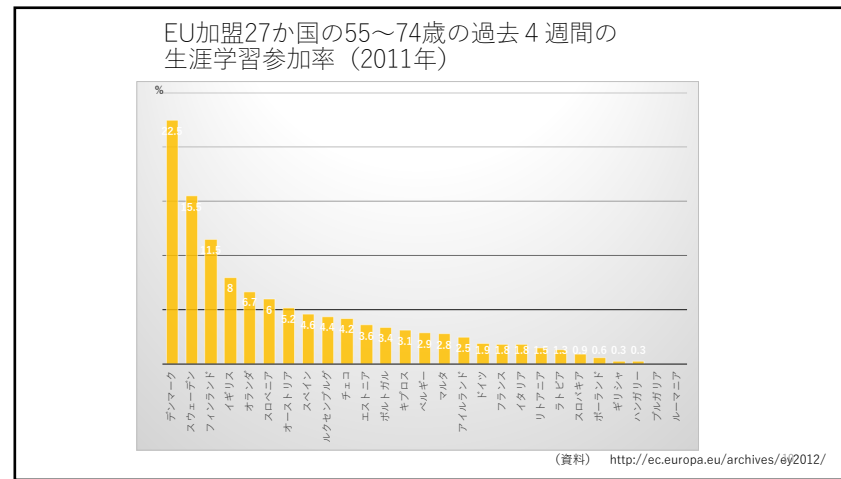
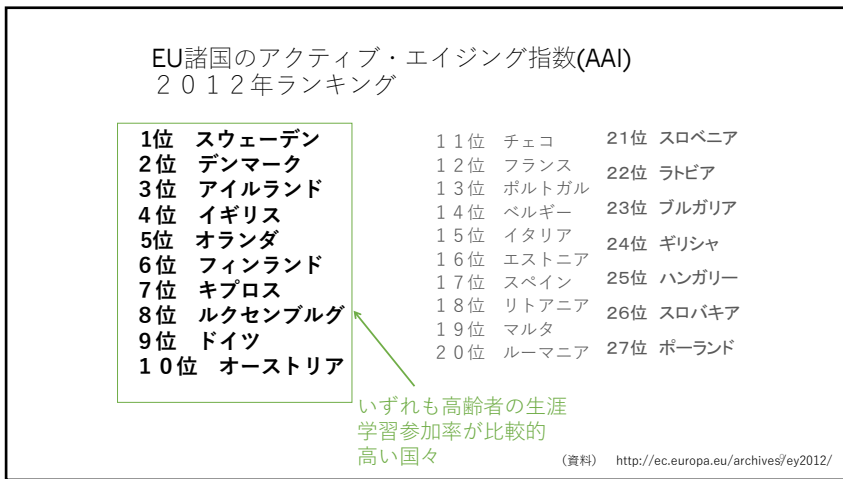
(資料) <http://ec.europa.eu/archives/ey2012/>

7

EUのアクティブ・エイジング指数(AAI)



8



学び続けるスウェーデンの人々 25-65歳の学習参加率(%) (性別、年齢別) (2012年)

	フォーマル学習・ノンフォーマル学習	フォーマル学習	ノンフォーマル学習	現職研修	余暇のノンフォーマル学習
計	72	13	67	59	24
女性	74	16	69	60	27
男性	69	11	65	58	21
(年齢)					
25-34	79	28	67	57	28
35-49	77	13	73	67	24
50-64	62	4	61	52	21

(資料) SCB(Statistiska Sweden), <http://www.scb.se/>

国の生涯学習事業の成功事例

スウェーデン「デジタル・リテラシーと参加事業(DIGIDEL)」

- ・電子機器を積極的に使いこなせる人を増やすキャンペーン(2013年までに50万人増)
- ・高齢者を中心とするが、年齢や社会的集団に関わりなくすべてのノンユーザーを対象
- ・民衆教育団体、図書館、シニアネット、企業、行政機関のネットワーク
- ・全国に18のDigidelセンター開設
- ・2019年はDigidelネットワークの活動に政府が165万クローナ(約2145万円)を支給

13

「民衆教育」(Folkbildning)の強固な基盤

- ・20世紀初頭の社会運動から発展したフォークハイスクールと学習協会による市民性を育むノンフォーマル教育
→公共善として国が支援
- ・他の北欧諸国にも類似の教育機会が存在
例) デンマーク「フォルケオプリュスニング」

14

1902年に禁酒団体「国際善良テンプレート騎士団」(IOGT)がスウェーデンで初の学習サークルを創設



15

「スウェーデンの民衆教育に対する政府の補助金に関する法令」(SFS 1991:977)
民衆教育法「学習、成長、変化」(2005/06:192)

<補助金交付の目的>

- (1) 民主主義の強化と発展に貢献する活動への支援
- (2) 人々が自らの生活状況に影響を及ぼし、社会の発展に参画することを可能とすることへの貢献
- (3) 教育格差をなくし、教育水準の向上と社会における文化意識を高めることへの貢献
- (4) 文化的な生活への関心を広げ、参加を促進することへの貢献

16

民衆教育法「学習、成長、変化」 (2005/06:192)

< 市民教育の優先的活動領域 >

- (1) 共通の基本的価値観
- (2) 多文化社会の課題
- (3) 人口動態の課題
- (4) 生涯学習
- (5) 文化活動
- (6) 障がい者
- (7) 公衆衛生
- (8) 持続可能な発展
- (9) グローバル正義

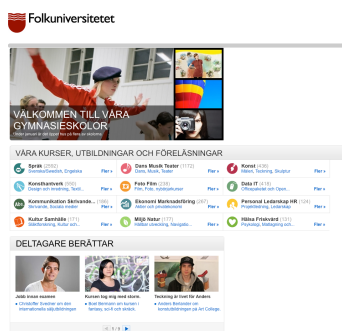
17

学習協会／学習サークル

- 10の学習協会に372団体が協力
SAEAが管轄
- 全国に約28万以上の学習サークルがありのべ約200万人が参加
(実数は約68万人)
- 子どもから高齢者まで誰でも参加できる
- 各サークルが組織する文化プログラムにはのべ約1650万人が参加

18

<例> Folkuniversitetet(国民大学校) 学習協会



- 1917年から活動を開始。大学教員と学生が学歴のない人々を対象に夜間学校で教える。
- 1942年から政府の補助金を得られる認可団体となる。
- 外国語教育と移民のためのスウェーデン語、通俗科学が得意分野

19

フォークハイスクール

- 全スウェーデンに154校
うちRIOの管轄 111校(協同組合、宗教団体、基金等が所有・運営)
SALARの管轄 43校(郡・レギオン立)
1校(市町村立)
- 18歳以上であれば誰でも無料で参加できる
(教材費、宿泊費等は有料)
- 一般(後期中等教育)コース、専門コース/
長期(1~4年)コース、短期(15日以下)コース
- 毎年の受講者数：長期コース 約28000人
短期コース 約57000人
- 113校に寄宿舎があり、一般コースの16%、専門コースの27%の受講者が利用

20

インクルーシブな学びの場としても重要性が増す傾向

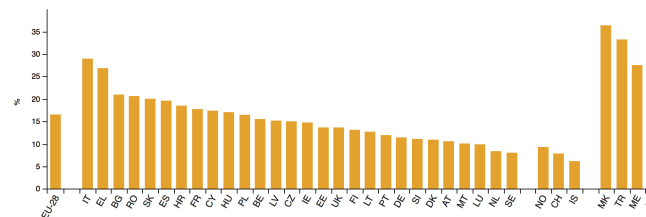
<例> アルマ・フォークハイスクール

- (1) 一般コース (後期中等教育課程)
- (2) 失業者のためのコース
- (3) 非営利団体で活躍するためのコース
- (4) 移民のためのスウェーデン語コース
- (5) 脳疾患による言語障害者のためのコース



EU諸国のNEET

Young people (aged 20-34) neither in employment nor in education and training, 2018



Source: Eurostat (online data code: edat_16se_20)

(出典) <https://ec.europa.eu/eurostat>

22

多様な学習成果認定(Validering/ Validation)

「個人が習得した知識とコンピテンスを、それらがどのようにして習得されたかに関わらず、体系的査定、評価、文書化(ドキュメンテーション)と認定を行うプロセス」

--学習成果認定に関する法律 (2003)より

<認定機関は目的によって様々>

高等職業教育庁、大学・カレッジ庁、学校教育庁、保健・福祉庁、
職業団体、社会団体、大学、高等職業教育カレッジ
コミュニケーション立成人教育機関(KOMVUX)、学習センター
公共雇用サービス局

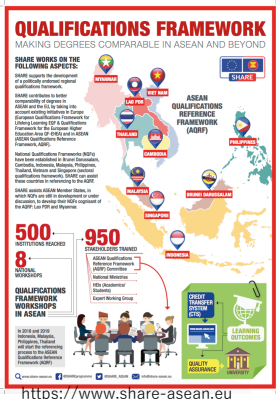
23

欧州生涯学習資格枠組み(EQF)とSeQF

EQFレベル	SeQF	正規の教育資格
レベル1	SeQF1	特別支援基礎学校修了
レベル2	SeQF2	基礎学校・特別学校・特別支援高校・移民のためのスウェーデン語コース・フォークハイスクール基礎学校コース修了
レベル3	SeQF3	該当なし
レベル4	SeQF4	高校修了、高校レベルの成人教育修了、フォークハイスクール高校普通教育コース修了
レベル5	SeQF5	高校エンジニア課程修了、高等職業教育修了
レベル6	SeQF6	学士号、高等職業教育専門的職業資格取得
レベル7	SeQF7	修士号
レベル8	SeQF8	博士号

24

(参考) 世界に広まる多様な学習成果の認定



<https://www.share-asean.eu>

• 2019年5月8日第3回VPL会議
「従前学習認定ベルリン宣言」

- 1) 組織の整備
- 2) 財政
- 3) 手順・手段
- 4) 支援システム
- 5) 認定後の進路
- 6) 法的基盤

<https://vplbiennale.org>

25

シブヤ大学：渋谷の街全体がキャンパス



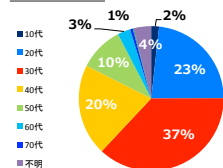
(資料提供) シブヤ大学

26

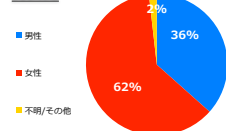
参加者の属性

- ・登録学生数: 25,597
- ・教室の数: 347
- ・参加者数: 30,870
- ・メールでニュースを受診 : 29,441

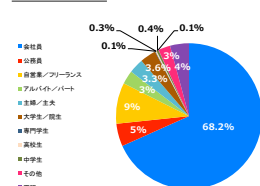
学習者の年齢



男女比



学習者の職業



(資料提供) シブヤ大学

高齢者によるアクティブ・ラーニングの事例： 神奈川県座間市あすなる大学



「大航海ゼミナール」のワークショップ風景

28

あすなろ大学

●学生数: 173人

生涯学習に関心のある60才以上の座間市民で金曜日の講座に通える人が対象

●学習講座 年間60%以上出席すると次の学年に進級できる

基礎課程(1~2年)

教養課程(3~7年)

専攻課程(8年以上) <受講料は無料>

●スケジュール

毎週金曜日 13:30~15:30

その他の日にフィールドワーク、クラブ活動等

29

コーディネーターとしての社会教育指導員の役割の重要性



30

オーバーラップする生涯学習の効果



(出典) UNESCO Institute of Lifelong Learning (2016) 3rd Global Report on Adult Learning and Education, UIL, p.22

31

日本の課題は？

- 超高齢化と高学歴・高度化/学習格差への対応
- 人生のマルチステージ化に対応した多様な学びの成果の文書化 (ドキュメンテーション, eポートフォリオ等)

→多様な学習者の自己効力感、自信にもつながる

→外国に背景のある学習者にも対応可能な成果認定の在り方も要検討

32